

会計室

一般会計要求総額 623 百万円
(対前年度 +9.7%)

【令和8年度 予算要求の方針】

会計室では、簡素で効率的な組織のもと、公金の出納及び支出命令等に関する審査・指導を強化するとともに、財務会計システムの安定的な運用を行うことなどにより、適正な会計事務の執行に努める。

また、資金状況に応じたきめ細やかな運用や調達を行い、安全かつ有利な資金管理を推進する。

さらに、公金事務の効率性とともに確実性を担保するため、デジタル化を着実に推進するとともに、国等の動向を踏まえ、会計事務にかかる公金の適正な経費負担を行う。

【令和8年度 予算要求の基本的な考え方】

⑨：新規事業 ⑩：拡充事業

●会計事務

要求額 623百万円 (対前年度 +9.7%)

適正な会計事務の執行に努め、会計事務執行に必要なシステムの安定した使用環境の保守管理、機能改善等を行う。

また、国等の考え方や全国的な傾向を踏まえて、適正な公金取扱手数料を負担する。

- ・会計管理事務
- ・公金収納デジタル化（財務会計システム）
- ・財務会計システム基盤更新事業
- ・⑨ 財務会計システム運用保守業務
- ・⑩ 公金収納事務のデジタル収納（eLTAX 対応）
- ・⑨ 財務会計システム改修業務
- ・⑩ 金融機関等公金取扱手数料

※ 公開時点での予算要求の内容であり、令和8年度に実施することが確定しているものではありません。

重点的に取り組みたい主なもの

(単位：千円)

「稼げるまち」の実現		
該当なし		
「彩りあるまち」の実現		
該当なし		
「安らぐまち」の実現		
該当なし		
その他の取り組み		
1	新	【事業名】財務会計システム運用保守業務 【事業費】68,873千円
		【事業概要】 本市の財務会計システムは、令和4年度に導入し、構築・リース・保守を一体とした契約により運用している。現行契約は令和8年8月に満了を迎えることから、全庁的な会計事務を引き続き円滑かつ正確に遂行するため、システムの安定運用を確保し、運用保守契約を更新するものである。
2	新	【事業名】公金収納事務のデジタル収納（eLTAX対応） 【事業費】6,546千円
		【事業概要】 市税における「eLTAX」について他の公金収納項目への拡大の動きに対応するため、財務会計システム改修を行い、「eLTAX」の仕組みの一つである地方税QRコードへの対応を進めている。R8年9月の「eLTAX」を活用した地方税以外の公金収納の運用開始に伴い、地方税共同機構への負担金と、開始にあたり住民や各金融機関等に周知を行い円滑に業務をすすめるための経費を計上する。
3	新	【事業名】財務会計システム改修事業 【事業費】8,499千円
		【事業概要】 全庁アンケートやプラチナ市役所プロジェクトからの要望をもとに、会計室X方針記載のとおり、財務会計システムの改修を行い、職員の負担軽減を図る。
4	拡	【事業名】金融機関等公金取扱手数料 【事業費】298,054千円
		【事業概要】 国等の考え方や全国的な傾向を踏まえて、適正な公金取扱手数料を負担する。